

野蒜復興新聞



野蒜地区復興協議会 総会準備

5月14日、野蒜市民センターにおいて野蒜地区復興協議会の役員会が開催された。この役員会では、6月1日に予定されている野蒜地区復興協議会総会の議事内容の確認等を行った。

総会では野蒜地区復興協議会の5部会①医療福祉部会②産業振興部会③教育施設部会④復興部会⑤高台移転部会、の平成25年度の活動報告、体制と規約の改正案、新役員の選任方法、平成26年度事業計画案等を協議する。

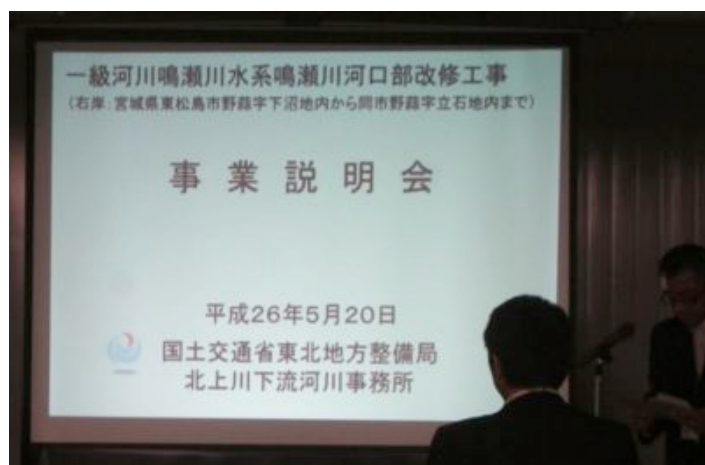
高台移転部会報告では、野蒜北部丘陵地区の画地決定状況、店舗併用住宅希望者の位置と業種、さらにこれまで話し合ってきたまちづくりルール(案)の概要を示す。

また野蒜地区復興協議会では、これまで5部会で協議を進めてきたが、今後は高台移転、災害公営住宅、跡地利用などまちづくりの役割を明確にし、新たな体制で復興まちづくりを推進していくことが検討されている。6月1日に予定されている野蒜地区復興協議会総会においては、これら検討してきた事項を含め、皆さんへわかりやすくお伝えできるように準備を進めている。

鳴瀬川河口部改修工事 事業説明会

5月20日に、野蒜市民センターにおいて国土交通省東北地方整備局主催の「鳴瀬川河口部改修工事」の事業説明会が開催された。野蒜築港資料館があった、鳴瀬川河口部からの堤防復旧整備対象区間6.6kmのうち現時点では約85%の区間で堤防復旧工事に着手し、その中の43%が完了していること、またこの復旧事業は平成27年度内の完成に向けて事業を推進しているという説明などがあり、大変興味深い説明であった。

※これら鳴瀬川河口部などの工事情報『工事だより』は野蒜市民センターで配布しております。



野蒜地区高台移転懇談会

【懇談会 巡回順】

- グリーンタウン矢本2仮設住宅
- ↓
- ひびき工業団地仮設住宅
- ↓
- 根古地区仮設住宅
- ↓
- 上北谷地地区仮設住宅
- ↓
- 矢本運動公園仮設住宅
- ↓
- 小野風の子公園仮設住宅
- ↓
- 小野駅前地区仮設住宅



今年1月から5月にかけて、野蒜北部丘陵地区へ移転を希望している仮設住宅入居者等を対象に、7カ所の仮設住宅集会所を会場とし懇談会が開催された。主催したのは、東松島市より復興まちづくり支援を受託している「東北圏地域づくりコンソーシアム」。野蒜地区復興協議会の顧問を務める鈴木先生が関わる一般社団法人で、高台移転部会、市役所、関係者などと協力し開催している。

移転希望者へはこれまで説明会や資料配布などで復興まちづくり計画の内容や進捗状況などをお伝えしてきましたが、説明会に参加できなかった方々からも移転に対する不安や悩み等、まちづくりに対する皆さんの思いを聞き取り、まちづくり計画へ反映していくことを懇談会の目的としている。

参加者は各テーブルに分かれ、進行役のもと①復興まちづくりに対する思いや期待②わからない事、心配な事、不安な事③その他、の3つをテーマに一人一人からご意見をうかがった。住民からの多様なご意見は集約し、野蒜地区復興協議会の関係者と共有し、まちづくり計画へ反映できるよう協議していく。



根古地区仮設住宅での懇談会



ひびき工業団地での懇談会

故郷野蒜、高台に一日も早く住み安心したい。この地は気候温暖で人情細やかな海山の豊穡の地です。団地は立地もよく海拔23m、30mの安心安全な高台にあります。二つの駅があるのは他にありません。私は高台部会に参加して、素人ですが被災者の一念で質問なり提案をしています。品質は設計から。できてからでは後の祭りの思いです。

懇談会で頂戴した意見は、出来ていない事等整理し高台部会の討議に反映させていききたいと考えます。そして「生きがい」の持てる「住みたくなす町」を作りたいと考えております。皆様の高台部会への参加とご支援をお願いいたします。

『住みたくなす町へゴー!』

今年の1月から東北こんそ主催の野蒜地区高台移転予定者との懇談会に参加しました。団地の見学希望、隣地境界の土留めの方針、規制内容、不安なこと等、多岐にわたる意見を頂戴しました。私も仮設に住み全く同じ思いです。

高台移転部会員
からのメッセージ